

幼保一体化施策に関わる実証的研究と 教員研修モデルの構築

(平成23・24年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動に採択)

●「理論と実践の融合」に関する共同研究活動とは、兵庫教育大学のミッションの一つである「教育実践学の推進」をより一層図り、その成果を国内外に発信し、学校現場や教育委員会のニーズに応えるため、平成23(2011)年度から「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究を教員から公募し展開しています。



な す かわ と も こ
名須川 知子

幼年教育コース教授

橋川喜美代
横川和章
石野秀明
藤辺裕人
藤田訓宏
椿原豊勝

幼年教育コース教授
幼年教育コース教授
幼年教育コース准教授
前兵庫教育大学教育研究支援部長
前三木市市民ふれあい部長
三木市市民ふれあい部長

(共同研究者)

この研究は最近話題にな

ることも多い、幼保一体

化施策にスポットを当てたもの

です。幼保一体化施策とは、幼

稚園と保育所の機能を一つに

し、認定こども園を設置しよ

うとするものです。これは、同

じ子どもでありながら親の就

労の相違で異なった機関に預

けられているという、わが国の

長年の懸案であった幼保二元

化の解決への大きな一歩だと

言えます。ここでは待機児童の

解消だけでなく、行政の一元

化や施設の一体化のほか、給付

金の一本化や満3歳以上の子

どもを学校教育の対象とする

といった保育の質の向上が謳わ

れています。一方、この問題を

めぐって公的機関として

の就学前教育に関する課題が

浮上しています。

本研究では、就学前教育と

してふさわしい教育理念につい

て明らかにするため、先進的推

進国のスウェーデンを調査しま

した。スウェーデンは30年前ま

ではわが国と同じく幼保二元

化でしたが、現在は0歳児から

保育省の管轄になり、誕生か

ら大学までの一貫教育を実施

しています【図】。そして、乳幼

児期の学びは誕生直後から開

始されており、遊びや生活を通

じた学びとして就学前教育が

位置付けられています。このよ

うに全ての子どもが等しくそ

の年齢にふさわしい教育を受

ける権利を実現しています。ま

た、二元化の結果として待機

児童問題は解消しました。

一方、わが国では今年4月

現在、全国の認定こども園は

1099園あり、兵庫県は最

多の93園が設置されています。

さらに、兵庫県教育委員会では

平成23(2011)年度か

ら、幼児期における「遊びを通

じた学び」の実践研究を推進

しています。全国的にみても兵

庫県は幼保一体化の推進県で

す。しかし、具体的な幼保一体

化施策やその内容は各地方自

治体に任されています。

そこで、本研究では近隣自

治体の三木市を共同研究者と

して、幼保育者の勉強会意見

交換、双方の園観察、事例検

討会、公開シンポジウムを実

施しました。それは、保育の質

の向上に最も関わるることとし

て、幼稚園教諭・保育士の保育

者としての資質向上があるか

らです。また、24(2012)年

2月に兵庫県内の幼稚園、保

育所、認定こども園に勤める

保育者の幼保一体化に関する

調査を実施しました。788

人の回答を得て、これまで

130年以上にわたって別々

に培ってきた保育文化の相違

は高い壁になっていることが明

らかになりました。例えば、同

じ用語を使用してもその意味

合いが大きく異なることや、同

じ子どもの行動についても双

方が子どもの育ちを考えてい

るにもかかわらず、見方や考え

方が養護的か教育的かに偏る

など、その相違が明確となりま

した。それらの壁を少しでも低

くするためにも、幼保の合同

研修会としての教員研修モデ

ルの構築を目指しました【表】。

最後に「なぜ幼保一体化か」

ということについて述べます。

それは、就学前の子どもの保

育・教育は長い目で

じっくり、ゆっくり関

わり、一貫性をもって

捉えることが子ども

のふさわしい発達を

保証することであり、

子育てのやりやすさ

にもつながるからで

す。保育者と親が共

同で子育てすること

で、子どもと共に親

もじっくり成長する

ことができると思え

ます。

【図】スウェーデンの教育システム (The Swedish Education System)



【表】幼保一体化に向けた研修モデル

- ① 保育、幼児教育の基本(講演)
- ② 幼保一体化施設における保育教育課程(講演)
- ③ 乳幼児期の子どもの発達と障害(講演)
- ④ 幼保の保育について・ワークショップ(話し合い)
- ⑤ 保育内容I:異年齢保育(講演)
- ⑥ 保育内容II:家庭や地域との連携(講演)
- ⑦ 保育内容III:小学校との連携(講演)
- ⑧ 職員間の連携と研修(講演および話し合い)
- ⑨ 保幼連携による実地研修(互いに保育事例を提示して話し合う)